

40	地域包括ケアシステム在宅医療研究
ビジョン	少子高齢化の中で医療介護の根幹政策である「地域包括ケアシステム」を理解し、急性期から在宅医療までの流れや多職種連携の重要性について班活動を通して理解し、豊明周辺地域の課題と地域在住高齢者との交流により思いやりの心を学ぶことによって「良き医療人」になるための資質を養う
ゴール	地域包括ケアシステムを理解し、実際に地域住民と交流するなかで医療従事者へのニーズを把握できるようになる。
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決能力を養う。コミュニケーション能力を養う。 ・礼儀を重んじ、規律を守る態度を養う。ボランティア精神を養う。 ・社会貢献
知の成果物	地域包括ケアシステムの知識、コミュニケーション技術、多職種連携、地域の高齢者や障がい者への理解、在宅医療や介護福祉行政制度
身につく力(目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力。ボランティア精神。 ・礼儀を重んじ高齢者守る態度。地域社会貢献を実践する力。 ・在宅医療や介護福祉制度の問題点を把握し、超高齢社会と地域の問題を多職種と協働して解決する力
学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムについて学ぶ ・急性期医療から在宅医療・介護までの流れを学ぶ ・医療・介護・福祉・行政・NPOなど在宅医療に関わる多職種の役割と連携の重要性を学ぶ ・豊明団地内住民との交流により医療人として住民の課題を自ら発見し、解決方法の検討とその実践を学ぶ
活動の特徴	学内活動、学外活動(豊明団地内)にて独居高齢者など住民のニーズ調査、地域イベントへのボランティア参加、訪問看護師、保健師、ケアマネージャー、豊明団地自治会、民生委員、ボランティア団体、地域包括支援センター、豊明市高齢者福祉課、社会福祉協議会など多職種との意見交換など。
班主任名	阿部 祐子 医療科学部 リハビリテーション学科
<初回>活動場所	医療科学部7号館5F 502、 豊明団地内自治会館
<通常>活動場所	
<雨天時>活動場所	